

人からはじまる地方創生～地方にある世界の港町を目指して～（宮城県気仙沼市）

取組概要

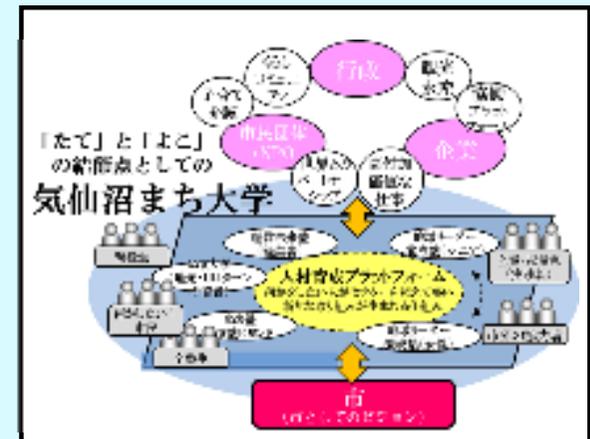
日本有数の漁港を擁し、水産業で栄えた町、気仙沼。国民の魚食離れや漁業の衰退等で、次第に活力を失いつつあった町を再生するため、人口66,000人の町を変革し、人口減少の中で地方にあっての価値観や豊かさを追求するため、町を牽引するリーダーを養成し、主体的にまちづくりに挑む人々の相互往来の場を作り、「人から始まる地方創生」に取り組む。

人口 66,178 人

担当 震災復興・企画部

取組の効果

プログラムの卒業生が、地域のリーダーとして地域の発展に寄与している。平成28年度以降は、「気仙沼まち大学運営協議会」を設立し、人材育成の取組を包括して進めるとともに、各種プログラムの卒業生をはじめとした「何かをしたい人」がセクターを超えて集まり、協働することで、新たな取組みを創発していく。



多様な主体を縦と横につなぐ

創意・工夫した点

幅広いセクター・地域・世代からなる多様な市民を巻き込み、経営者向け、女性向け、シニア向け等ニーズやターゲットに合わせたプログラムをできるだけ幅広く準備している。

他団体へのアドバイス

幅広い主体を巻き込み、市民がオーナーシップ意識を持ち、「自分事」としてとらえることのできる手作りの取組とするための工夫（事務局体制、市民WS等）が必要であると考えている。



市内のリーダーやまちづくりに関心のある人が集える場を開設予定